

【授業科目】生命倫理学

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー	教職員への授業公開
日比 千恵	1年次前期	必修	1	15	講義	巻末掲載	否
授業概要 (内容と進め方)	<p>授業概要/現代における医療や生命科学分野で生じている問題をもとに、生命倫理の対象や倫理問題の論点を理解し、医療者としてあるべき姿や課題を考察する。事例を読み、グループで討論しそこから学んだことや気づきについてまとめ、発表することで授業を展開する。発表では、様々な意見を通して、自分の考えを深める。また、このような学習を通して、人間を尊重し生命の尊厳について考えられる態度を養う。授業は講義形式ではなく、個人ワークやグループワークを中心に学生主体で進める。課題に対するフィードバック方法/提出されたレポートにコメントをつけて返却する。または、授業中に解説する。</p>						
授業の位置づけ	<p>本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け臨床検査を主体的に学び、臨床検査の専門職としてのキャリアを伸ばせる能力を持つことができる。」の達成に寄与している。</p>						
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生命倫理の対象について述べるができる 2. 医療や生命科学分野で生じている倫理問題の論点を述べるができる 3. 医療者として問題にどのように向き合い、対処するべきかを述べるができる 						
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	<p>第1回 事前学習：シラバスを読み、授業の内容を把握する (15分) 第2～4回 事前学習：事例を理解するために必要な知識をノートにまとめる。事例を読み、感じ考えたことをメモする (各60分) 第2～4回 事後学習：ディスカッションした内容を整理する (60分) 第5回 事前学習：グループで発表の準備を行う (60分) 第5回 事後学習：発表の振り返りを行い、学びや気づきについてレポートを作成する (120分) 第6～7回 事前学習：事例を理解するために必要な知識をノートにまとめる。事例を読み、感じ考えたことをメモする (各60分) 第6～7回 事後学習：ディスカッションした内容を整理する (60分) 第8回 事前学習：グループで発表の準備を行う (60分) 第8回 事後学習：最終レポートを作成する (120分)</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間 (2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回) (1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回) (1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回) を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>						
授業計画	<p>第1回：導入・ガイダンス：講義の目的・進め方、授業概要、生命倫理とは</p> <p>第2～3回：事例を読む① グループに分かれて、メンバーで選択した事例を読み、そこから学んだことや気づいたことをディスカッションする。</p> <p>第4回：事例を読む① ディスカッションした内容をまとめ、発表の準備を行う</p> <p>第5回：事例を読む② グループ発表と全体討議</p> <p>第6～7回：事例を読む② グループに分かれて、学んだことや気づいたことをディスカッションする。ディスカッションした内容をまとめる。ディスカッション内容を整理し、発表の準備を行う。</p> <p>第8回：医療者としての学び・気づきと課題 (発表と全体討議)・まとめ 事例から学んだこと・気づいたことについて発表し、全体討議を行う</p>						全て日比
評価方法 評価基準	グループワーク (エントリー・発表) 60%、課題レポート 40%						
教科書	霜田求：テキストブック 生命倫理 (法律文化社)			参考書等	香川知晶：命は誰のものか ディスカヴァー携書		
学生へのメッセージ	現代の生命科学や医療技術の発展により人の生命に関して生じてきた様々な倫理問題について吟味していきます。本講義で扱う内容は、答えが出ない問題ばかりです。いろんな側面や様々な価値観があることを知り、それを受け入れ、考える力を身につけてください。						